

近年、街を歩いていると中国語がふと聞こえてきたり、百貨店やショッピングモールなどで中国語のアナウンスが流れていたりすることが増えてきたと思いませんか？ 各地の駅の案内標識などにも、中国語の文字が記してあるのを目にしたことがあると思います。日本を訪れる外国人観光客のうち、中国人が最も増えているからです。2020年に東京オリンピックが開催されると、今よりさらに多くの中国人観光客が来日することが予想されます。その時、皆さんは、多言語で対応できる人材として活躍してみたいと思いませんか？ 今から中国語を初習外国語として学んでおけば、将来性が広がるかもしれませんよ。そう、林修先生風に言うなら、中国語を学ぶなら、まさに「今でしょ！」

I. 中国語を学ぶメリットとは？

<世界一の話者人口を有する言語>

中国語は地球上の五人に一人が話しており、世界最大の話者人口を擁する言語です。国連の公用語の一つとしても使われています。中国本土、台湾、香港はもちろん、シンガポールやマレーシアなど東南アジアの華僑圏でも主要言語になっています。さらに、アメリカやカナダ、オーストラリアやニュージーランドなどにあるチャイナタウンでも華僑たちが生き生きと暮らしており、中国語で交流することができます。英語の次に、中国語を身につければ、文字通り世界中の人々と交流を楽しむことができ、皆さんの人生を公私にわたって豊かにしてくれるでしょう。



<就職活動で今もっとも注目されている中国語！>

日本と中国との関係は歴史問題などで時に悪化する側面があるとはいえ、千年以上の長きにわたって深い影響を及ぼし合ってきました。とりわけ、経済や文化の交流においては、中国は依然として存在感のある大きな隣国です。

たとえば、財務省の貿易統計によると、日本の貿易相手国の第1位は長らくアメリカでしたが、2006年以降はずっと中国が占めるようになりました（右表）。このような現状において、日本企業は中国語が話せる高度な人材を数多く必要としています。現在、就職活動において、TOEFLやTOEICの英語スコアに加え、HSK（中国政府が全世界で実施している中国語能力試験）の成績を高く評価する企業も増えています。中国語の資格を取得しておく、憧れの職業に近づく上で大きな力になってくれるでしょう。

貿易相手国上位10カ国の推移(輸出入総額:年ベース)

年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
総額	1,336,577億円	1,344,362億円	1,510,167億円	1,590,021億円	1,540,195億円
1	中国 275,441億円 (20.6%)	中国 265,479億円 (19.7%)	中国 302,852億円 (20.1%)	中国 325,579億円 (20.5%)	中国 326,522億円 (21.2%)
2	米国 159,491億円 (11.9%)	米国 172,704億円 (12.8%)	米国 197,430億円 (13.1%)	米国 211,919億円 (13.3%)	米国 232,844億円 (15.1%)
3	韓国 84,392億円 (6.3%)	韓国 81,450億円 (6.1%)	韓国 90,049億円 (6.0%)	韓国 89,873億円 (5.7%)	韓国 85,704億円 (5.6%)
4	オーストラリア 59,323億円 (4.4%)	オーストラリア 59,744億円 (4.4%)	オーストラリア 66,326億円 (4.4%)	台湾 67,992億円 (4.3%)	台湾 72,899億円 (4.7%)
5	台湾 59,096億円 (4.4%)	台湾 55,938億円 (4.2%)	台湾 63,761億円 (4.2%)	オーストラリア 65,909億円 (4.1%)	タイ 58,581億円 (3.8%)
6	タイ 49,417億円 (3.7%)	タイ 53,746億円 (4.0%)	タイ 56,576億円 (3.7%)	サウジアラビア 58,202億円 (3.7%)	オーストラリア 57,649億円 (3.7%)
7	サウジアラビア 45,430億円 (3.4%)	サウジアラビア 50,328億円 (3.7%)	サウジアラビア 55,319億円 (3.7%)	タイ 56,193億円 (3.5%)	香港 44,834億円 (2.9%)
8	インドネシア 41,283億円 (3.1%)	アラブ首長国連邦 42,251億円 (3.1%)	アラブ首長国連邦 49,780億円 (3.3%)	アラブ首長国連邦 54,094億円 (3.4%)	ドイツ 44,190億円 (2.9%)
9	アラブ首長国連邦 40,053億円 (3.0%)	インドネシア 41,951億円 (3.1%)	インドネシア 44,748億円 (3.0%)	マレーシア 45,833億円 (2.9%)	マレーシア 40,541億円 (2.6%)
10	マレーシア 39,218億円 (2.9%)	マレーシア 40,340億円 (3.0%)	マレーシア 43,885億円 (2.9%)	ドイツ 45,694億円 (2.9%)	アラブ首長国連邦 38,984億円 (2.5%)

(出典：財務省貿易統計)

<グローバル化が進む中での必須言語>

2020年の東京オリンピック開催決定によって、日本はますます世界から注目を集めています。日本国内でも多言語能力を持つ人材へのニーズが確実に増えています。例えば、近年の中国人観光客の急増は、中国語人材に対する需要が大きくなることを容易に想像させてくれます。実際に、皆さんの先輩の中には、ディズニーストアや家電量販店などでアルバイトをしている時、中国人のお客さんと接してもうまくコミュニケーションができず、「もっと中国語が話せれば、スムーズに対応できたのになあ」と口惜しがっている学生が珍しくありません。また、社会人になってから仕事で中国語が必要になり、休日に中国語のテキストと格闘しながら「大学で中国語を履修しておけばよかったなあ」と後悔している人もいます。「備えあれば憂いなし」ということわざがあるように、今から中国語に取り組み、基礎を身につけておけば、将来役立てられる場面がたくさんある、そんな時代になっているのです。

また、2022年には冬季オリンピックが北京で開催されることになりました。北京は近いですから、皆さんの中には現地で日本選手団を応援したいという人もいるでしょう。そんな時に中国語を話せたら楽しさは何倍にもふくらむでしょう。グローバル化が進むいま、大学で中国語を履修しておけば、仕事でもプライベートでも皆さんの人生をより豊かなものにしてくれるでしょう。



上：ショーロンポーの老舗 下：上海の観光名所豫園



中文会話倶楽部

<「プチ留学」気分で中国語に触れよう！>

外国語を勉強する上でネイティブ学生と交流するのは、効果的なだけでなく刺激的で楽しい学習方法です。現在、明治学院大学には中国語圏からの留学生が120名以上も学んでいます。彼らは皆さんと同世代で、日本についてたくさんのことを知りたいと思っていますし、日本人学生との交流も望んでいます。そんな留学生が中心になって運営し、中国語学習者と交流しながら学び合おうと、「中文会話倶楽部」という自主的な集いを毎週1回開催しています（左写真）。留学生に中国語や中国文化に関する質問をしたり、発音を直してもらったりすることができるので、とても人気があります。レベルの高い学習者は留学生と中国語で直接会話する練習もしています。また、留学生による中国文化や中国事情の紹介も行われています。昼休みの50分という短い時間ですが、一緒にお弁当を食べながら中国語圏からの留学生と楽しく触れ

合って、気軽に「プチ留学」気分を味わってみませんか。

Ⅱ 中国語を学ぶポイントとは？

「中国語は将来役に立ちそうだから選択してみようかなあ。でも勉強は難しいんじゃないかなあ」——そう迷っているあなたには、中国語を学ぶ上で日本語話者が世界でもっとも有利な条件を備えていることを知ってほしいと思います。非漢字圏の学習者にとって、数千字もの漢字を覚えることがまず大きな壁です。しかし、皆さんはその点ではほとんど苦労はありません。普段から漢字を使っているのは、世界でも日本語話者だけです！ もちろん、別の難しさもあります。漢字の意味は分かっても「発音」がかなり違いますし、日本語にはない「巻き舌音 (zhi, chi, shi, ri)」などには苦戦するかもしれません。

以下では、中国語学習をイメージしてもらうために、いくつかのポイントを紹介しておきましょう。

<「ピンイン」と「四声」が大事！>

日本語は「ひらがな」「カタカナ」「漢字」「ローマ字」の4種類の表記がありますが、中国語は「漢字」だけで表記されます。中国語の漢字を発音するためには「ピンイン」と「四声」を身につける必要があります。ここでは、誰もが知っている「ニーハオ」という挨拶の言葉を例に挙げます（下図）。

「ピンイン」とは、ローマ字で表記される発音記号のことです。図の矢印で示したように、基本的に母音と子音を組み合わせて構成されます。そして、母音の上につけられた記号が「声調」です。この記号の向きが、音の上げ下げを表現しています。例えば、同じ「ma」という発音でも、mā (妈)、má (麻)、mǎ (马)、mà (骂) という四つの声調があり、この声調によって漢字が変わり、意味も違ってきます。これを「四声」と言います。これが中国語の音声の最大の特徴であり、また外国人にとっては難しいところでしょう。しかし、慣れていけば、リズムカルで歌っている音声にも聞こえてくるでしょう。



<中国語の語順も S-V-O 構造！？>

語順については、大学時代に一度ぐらいは使ってみたいフレーズを例に挙げましょう（右図）。中国語の語順は英語と同じようにS-V-O構造です。しかし、日本語の語順に近いところもあります。たとえば、「也」は「～も」を意味しますが、英語のように文末に「too」を入れるのではなく、日本語と同じで主語のすぐ後に置きます。これは日本語の感覚に近いでしょう。英語を長年学んできて、日本語を母語とする皆さんには、中国語の読み書きはかなり親しみやすいと言えるでしょう。

I	love	you	
我	爱	你	
私は	あなたを	愛している	
I	love	you	too
我	也	爱	你
私も	あなたを	愛している	

<馴染みのある漢字を使うので、覚えやすい！>

中国語で使われる漢字には、簡体字（中国本土とシンガポール）と繁体字（主に台湾と香港）の二種類があります。前者は日本語の漢字より画数が少なく、後者は多いです。皆さんがこれから学ぶのは簡体字の方ですが、日本語で使われる漢字と多少違う漢字もあることは、右の図を見れば一目瞭然でしょう。

さらに、日本語の漢字からは想像が難しい簡体字もあります。例えば、以下の漢字は日本語では何という漢字に当たるか想像してみてください。“头”、“买”、“个”、“儿”、“几”。ちょっと見当がつかないかもしれませんね。正解は「頭」「買」「個」「児」「幾」です！「えっ？ 漢字も難しい～」と嘆く人がいるかもしれません。しかし、規則を覚えれば、それほど難しいものではありませんよ。例えば、「車」は“车”、「語」は“语”、「貝」は“贝”、「見」は“见”のように部首などを覚えていけば簡単です。日本語の「くずし字」に近いと考えてください。

中国語の単語や簡体字を勉強するには、身近にあるリアルな素材も活用できますよ。近年、各種の案内表示板や料理店のメニューなどを見ると、外国人観光客向けに中国語も表示されることが増えています（下写真）。通学途中や観光中に観察したり写真を撮ったりすれば、単語や簡体字を覚えていくことができ楽しいですね。



簡体字	繁体字	日本語
骨	骨	骨
凉	涼	涼
宿舍	宿舍	宿舍
汉语	漢語	漢語
图书馆	圖書館	図書館

<同じ漢字を使っても、まったく違う意味！？>

中国語には、表記が日本語と同じで意味も同じという漢字もあれば、全く意味が違う漢字もあります（右図）。どうしてこんなに違う意味になってしまったのだろうと考えるだけで、楽しくなりますね。

日中同形異義語の比較

中国語 表記	日本語 表記	中国語 意味	日本語 意味
娘	娘	お母さん	むすめ
手紙	手紙	トイレトペーパー	てがみ
大家	大家	皆さん	おおや
丈夫	丈夫	夫、亭主	じょうぶだ
勉強	勉強	無理する	勉強する

Ⅲ. 中国語の背景にある社会と文化

中国語を学んでいくためには、その背景にある中国の社会や文化についても理解を深めることが大切です。日本と中国、日本人と中国人には様々な面において共通する点もあれば、異なる点もあるからです。中国語を学ぶことで「知らなかった中国」に出会うこともきっとあるでしょう。

＜巨大な人口と広大な国土＞

中国では1980年代から「一人っ子政策」が実施されましたが、依然として世界一の人口を誇ります。中国国家統計局によれば、2014年末の時点で、中国本土だけでも13億6782万人以上の人口を有しています。国連の「世界の人口予測」では、中国は2022年まで世界最大の人口国であり続けると予測しています。ただ、「少子高齢化」による弊害が急速に表れている点は日本と共通しています。

一方、日本の約25倍もの広大な国土は、行政区画として4直轄市（北京・上海・天津・重慶）、23省（台湾省を含む）、5自治区（少数民族が集中する地域）および2特別行政区（香港・マカオ）に分けられています。東西南北に伸びる各地の自然環境は大きく異なっています。沿岸部は気候に恵まれ、交通も発達しています。それに対して、内陸部は高原地帯が多く、砂漠化の問題が深刻となっています。近年、急速な経済成長により国民全体の生活水準が上がっていますが、市場経済化が進むにつれて、貧富の差も拡大しています。沿岸部の東部地方と内陸部の西部地方（重慶、成都、西安等一部の大都市を除く）の格差が激しく、中国の大きな課題となっています（右上地図を参照）。格差拡大も日本と共通する課題ですね。



中国各省のGDP値地図

＜多くの民族と多様な文化＞

文化の均質性が高いとされる日本とは違って、中国では56もの民族がそれぞれの異なる言語と文化、生活習慣を保って暮らしています。チベット族やウイグル族の食生活や独特の文字などは日本でもよく紹介されていますね。人口割合としては、漢民族が90%を超えています。しかし、同じ漢民族でも、北京語、上海語、広東語、福建語など、それぞれ互に通じない方言を使っていたため、政府は建国間もない1955年に北京語の発音を基準とした言葉を共通語として採用しました。皆さんが学ぶ中国語は、この“普通话”（プートンホア）という共通語です。

言語だけではなく、各民族の宗教や風俗も大きく異なっています。チベット自治区や新疆ウイグル自治区などでは、少数民族の大多数がチベット仏教やイスラム教の敬虔な信者です。かつては特定の信仰を持たない人が多かった漢民族の間でも、近年カトリックや仏教の信者が急速に増えています。

少数民族はチベット族やウイグル族だけではなくありません。例えば、皆さんは「苗（ミャオ）族」を知っていますか？ 次のページの写真にあるように、美しく豪華な刺繍を施した民族衣装や銀の髪飾りで有名で



北京随一の繁華街に建つカトリック教会

す。中国の南部にある貴州省という地域を中心に900万人近くが暮らしています。焼畑や稲作などの農業が中心産業で、食文化も米が主食のところは日本と共通しています。やや辛い料理もあるところが違いでしょうか。写真のように、伝統的な住居は壁も屋根もすべて木造で日本の古い住宅と似ているところがあります。ベトナムにもそれほど遠くない地域ですから温かく、バナナやサボテンが生えています。このミャオ族は文字を持たない独自の言語を持っていて、さらに複数の方言に分かれていましたから、かつては交流することが難しい側面がありました。今では皆さんがこれから学ぶ“普通话”も通じますので、中国語圏の多様な姿に直接触れることができますよ。

是非、本学で開講される中国語の授業で学び、中国社会や文化に関する講座なども活用して中国への理解を深めてください。では、教室でお会いしましょう！



貴州・西江千戸苗寨の鳥瞰図



山や田んぼに囲まれた苗族の住居“吊脚楼”



苗族の民族衣装



苗族の成人女性の髪飾り

<参考資料・サイト>

- ① 石川好『中国という難問』（NHK出版 生活人新書）
- ② 丸川哲史『日中100年史 二つの近代を問い直す』（光文社新書）
- ③ DVD『関口知宏の中国鉄道大紀行 春の旅・秋の旅』（NHKエンタープライズ）
- ④ NHK<まいにち中国語><テレビで中国語> <http://www.nhk.or.jp/gogaku/chinese/>
- ⑤ <中国国家観光局> <http://www.cnta.com/>
- ⑥ <香港政府観光局> <http://www.discoverhongkong.com/jpn/>

また、お会いしましょう！— 再見！